

『脳免疫機能の生理から病理まで』

日時：2025年7月29日（火） 10:30～16:20

場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F サイエンスホール(WEB配信併用)

開催趣旨：脳は神経細胞が織りなす複雑なネットワークの活動により機能すると考えられてきたが、脳には神経細胞よりも多数のグリアが存在している。今世紀に入ってからグリア研究は格段に進歩し、脳の生理・病態生理は神経・グリア両細胞のコミュニケーションにより実現していることが明らかにされつつある。ミクログリアは脳の免疫細胞であるが、免疫細胞としての役割を遙かに超え、情報処理・発信、という脳の中核機能制御で中心的な役割を果たしている。またこのようなグリアを介した情報のやりとりは、脳に閉じる事なく、脳と末梢の臓器・細胞とのコミュニケーションにおいても重要であることが明らかとなってきた。このような目覚ましい発展の背景には、単一分子レベルの精緻な観察から脳全体の動態を俯瞰する解析に至るまで、「見る」「操る」「網羅的に知る」といった次世代技術の飛躍的進歩がある。さらに、中枢神経・グリアと免疫細胞等の末梢臓器をつなぐ新たな分子メカニズムが次々と明らかになることで、知と技術の革新が相まって、この分野にかつてない追い風が吹き始めている。本日の演者たちは、まさにこの時代の風を生み出し、時代を前へと推し進めてきた立役者達であると言える。本セミナーでは、グリアを介した脳免疫連関についての最近の知見を、これら最新技術の進歩を踏まえて議論する。

演題・演者（＊コーディネーター）

10:35-10:50 **「はじめに」**小泉 修一＊ 山梨大学・医学部長、同大学院・医学域長、
同大学院総合研究部医学域 薬理学講座 教授10:50-11:30 **「病態におけるグリア細胞の変容」**

和氣 弘明＊ 名古屋大学大学院医学研究科 機能形態学講座 分子細胞学 教授

11:30-12:10 **「末梢免疫細胞による脳の疾患制御」**

伊藤 美菜子 九州大学 生体防御医学研究所 アレルギー・防御学分野 准教授

－昼食－

13:20-14:00 **「エクソソーム解析から目指す、自閉スペクトラム症の新たな病態解明」**

星野 歩子 東京大学 先端科学技術研究センター 細胞連関医科学分野 教授

14:00-14:40 **「認知症病態を司るミクログリアの可視化と制御」**樋口 真人 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
脳機能イメージング研究センター センター長、
大阪公立大学大学院医学研究科 病因診断科学 教授

－休憩－

14:50-15:30 **「脳神経回路の構造改変とグリア機能」**岡部 繁男 東京大学大学院医学系研究科 神経細胞生物学分野 教授
理化学研究所 脳神経科学研究センター センター長15:30-16:10 **「グリア細胞置換による脳機能制御」**小泉 修一＊ 山梨大学・医学部長、同大学院・医学域長、
同大学院総合研究部医学域 薬理学講座 教授16:10-16:20 **「おわりに」**

和氣 弘明＊ 名古屋大学大学院医学研究科 機能形態学講座 分子細胞学 教授

■ 参 加 費： 無料 ■ 定 員： 会場参加100名、WEB参加500名

会終了後、交流会（名刺交換会）を開催します。是非、会場にお越し下さい。

■ 申込方法： 参加希望者は、当財団ホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申込み下さい

■ お問い合わせ： 千里ライフサイエンスセミナーX2事務局

E-mail: otk-2023@senri-life.or.jp TEL: 06-6873-2006

財団 HP: <https://www.senri-life.or.jp>

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

後援：バイオコミュニティ関西



参加申込フォーム